

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市子ども交流館
条例上の設置目的	子どもの健全な育成と交流を図る
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	「遊び・創造・憩い」を通して、子どもたちに健全な遊びと居場所を提供し、子どもの健全な育成と交流を図ること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健全な遊びと居場所を提供すること 子どもの健全な育成を目的とする講座等の開催、子どもの自主サークル等の支援 子どもの遊びと居場所づくりに関する情報収集及び提供
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、市民サービスの向上、市民の利用の増加を見込んでいます。
成果指標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者数 ② 利用者満足度（アンケート） ③ 出張講座実施回数
数値目標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間93,000人以上 ② 80%以上 ③ R4：3回、R5：5回、R6：7回、R7：9回、R8：10回
所管課	こども未来局こども未来部こども企画課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	千葉ミライ子どもプロジェクト事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	アクティオ株式会社(代表団体) デルウェル東日本株式会社
主たる事業所の所在地 (代表団体)	東京都目黒区東山1丁目5番4号 KDX中目黒ビル6階
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R5年度実績	達成率※
利用者数	R5：95,000人 (93,000人以上/R5)	93,995人	98.9% (101.1%)
利用者満足度（アンケート）	85%以上 (80%以上/R5)	94.9%	111.6% (118.6%)
出張講座実施回数	R5：6回 (5回/R5)	4回	66.7% (80%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R5年度	【参考】 R4年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	103,349	103,081	実績－計画	0	
	計画	103,349	103,081	計画－提案	0	
	提案	103,349	103,081			
利用料金収入	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
その他収入	実績	811	526	実績－計画	511	参加費の増
	計画	300	300	計画－提案	0	
	提案	300	300			
合計	実績	104,160	103,607	実績－計画	511	
	計画	103,649	103,381	計画－提案	0	
	提案	103,649	103,381			

イ 支出

(単位：千円)

費目	R5年度	【参考】 R4年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	60,067	60,440	実績－計画	182	非常勤職員の増員及び昇給による人件費の増
	計画	59,885	58,971	計画－提案	0	
	提案	59,885	59,306			
事務費	実績	30,934	33,339	実績－計画	△ 2,294	消耗品費及び賃借料の減 等
	計画	33,228	33,685	計画－提案	0	
	提案	33,228	33,790			
管理費	実績	410	100	実績－計画	3	備品費の増
	計画	407	440	計画－提案	0	
	提案	407	440			
委託費	実績	1,641	2,111	実績－計画	△ 45	入退館システム機器の保守点検費の減少
	計画	1,686	1,863	計画－提案	0	
	提案	1,686	1,863			
その他事業費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
間接費	実績	8,443	8,422	実績－計画	0	
	計画	8,443	8,422	計画－提案	0	
	提案	8,443	8,422			
合計	実績	101,495	104,412	実績－計画	△ 2,154	
	計画	103,649	103,381	計画－提案	0	
	提案	103,649	103,821			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

【一般管理費（本社管理経費）】
 指定管理事業の実施にあたっては、現場と本社が一体となって業務を遂行しており、本社は、人事労務、事務・経理、施設担当社員の配置などの現場管理を行っている。これらの現場管理に係る経費は、本社における営業費に該当し、代表団体における直近3か年の売上高に対する営業費の平均比率は約12.5%となっている。
 指定管理事業の一般管理費の算定にあたっては、一般管理経費を除く支出総額に対し、本社の営業費比率の実績を基に12.5%相当を計上するところであるが、子ども交流館においては、当施設の運営を安定させるため、その比率を約8%に引き下げ、計上している。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R5年度	【参考】 R4年度
自主事業収入	実績	719	625
その他収入	実績		
合計	実績	719	625

イ 支出

(単位：千円)

費目		R5年度	【参考】 R4年度
人件費	実績		
事務費	実績		
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績		
事業費	実績	710	635
利用料金	実績		
その他事業費	実績		
間接費	実績		
合計	実績	710	635

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R5年度	【参考】R4年度
必須業務	収入合計	104,160	103,607
	支出合計	101,495	104,412
	収支	2,665	△ 805
自主事業	収入合計	719	625
	支出合計	710	635
	収支	9	△ 10
総収入		104,879	104,232
総支出		102,205	105,047
収支		2,674	△ 815
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数	C	来館者数91,916人に出張講座等の利用者数2,079人を加えた利用者数93,995人は、市設定目標値の101.1%であるため、評価をCとする。
利用者満足度（アンケート）	B	利用者満足度94.9%は、市設定目標値の118.6%であるため、評価をBとする。
出張講座実施回数	C	出張講座実施回数は合計4回であり、数値目標の80%のため評価はDとなるが、インフルエンザ等の流行に伴い学校での出張講座が中止になったことのほか、ブース出展には至っていないものの、千葉県科学館との連携で科学フェスタやプラネタリウムコンサート等の場で、アウトリーチとしての取組みを積極的に実施していることを考慮し、総合的に判断し評価をCとする。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外(市の指定管理料支出がない。)

≪参考≫指定管理料
 (提案額-実績額)÷提案額=削減率
 (103,349-103,349)÷103,349=0.0%

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保	C	C	『千葉市子ども交流館設置管理条例・管理規則』に則り、届出及び使用許可申請について、適正に処理している。
2 施設管理能力	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、職員を各階に1人以上、事務室に2人以上配置した。 ・常勤職員は保育士、教員免許、図書館司書、児童指導員任用資格、安全衛生推進員等の資格を有している。 ・マナーやコンプライアンスに関する研修のほか、感染症予防講習会や食品衛生責任者講習会を実施した。 ・管理運営の基準のとおり、適正な保守管理を実施している。
(1) 管理運営の執行体制			
(2) 従業員の管理能力向上			
(3) 施設の保守管理			
3 施設の適正な管理	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の情報については、千葉市指定管理者等個人情報保護規程に基づき適正に管理している。 ・地震の発生や台風等の予報、爆破予告等の情報を入手した場合は、市と連携し、適切に対応していた。 ・インフルエンザウイルス等の感染症が流行した際、所管課と情報を共有しながら、感染症対策について、安全に段階的に緩和し、清掃及び消毒の実施など適切な対策を行っていた。
(1) 関係法令等の遵守			
(2) リスク管理・緊急時対応			
4 施設の効用の発揮			
(1) 利用者への支援	B	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見回収箱を常設し、ロビーに意見及びそれに対する回答を掲示している。また、10月から通常利用時における利用者満足度の把握のためにシールによるアンケートを開始し、合計1,180件の回答を得た。 ・ホームページやSNSにより、当館の情報や講座イベントの様子などを、年間を通してほぼ毎日情報発信を行っている。 ・市内の小中学校、公民館等に毎月チラシを配布している。 ・インフルエンザ等の感染症が流行した影響等により目標は達成できなかったが、出張講座を4ヶ所で実施した。
(2) 利用促進の方策			
(3) 利用者意見聴取・自己モニタリング			

(4) 施設の事業の効果的な実施				
①子どもの健全な遊びと居場所の提供	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・497回の受託事業を計画し、感染症等の影響に伴い、482回の実施となった。 ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い、中高生の交流の場としての交流カフェ「きがる」や子ども同士の自由な交流を育む「みんなでレクリエーション」を再開させ、子ども同士の交流を深める場を提供した。 	
②子どもの健全な育成を目的とした講座等の開催				
③子どもの自主サークルその他自主活動の支援				
④子どもの遊びと居場所づくりに関する情報の収集及び提供				
⑤こどもの参画推進	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・市の事業である「こども・若者の力ワークショップ」「こども・若者市役所」「こどものまちCBT」、こどもの居場所などの事業に協力した。 ・市内の中学校 5校から職場体験学習生を受入れ、15人の生徒に当館の業務を体験してもらった。 ・支援を要する子どもへの対応として「チャイルドサポート」事業を開催している。個別に支援が必要な子どもに関しては、職員・スタッフが情報を共有し、適切に対応している。 ・令和4年度、2つの高校生グループから、子ども達に文化伝承に係る取り組みを行いたい旨相談を受け、「夏まつり」や「新年あそび大会」のイベントの実施に至ったが、令和5年度も、協力を得て開催した。また、団体だけでなく、個別に調理室の貸出も数回行った。 	
⑥支援を要する子どもへの対応				
⑦その他市の子ども施策への対応				
(5) 自主事業の効果的な実施	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 企業、NPO、官公署、科学館と連携し、館内館外問わず、多様な事業を企画し、身近な企業や地域と関わりながら学びを得る機会を創出した。 	
5 その他市長が定める基準				
(1) 市内業者の育成	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・職員（非常勤含む）25人のうち、23人が市内在住である。 ・構成団体における障害者の雇用率は、昨年度アクティオ株式会社で2.80%、テルウェル東日本株式会社が2.36%であり、法定雇用率2.3%を達成している。なお、平成24年度から障害者が1名、継続的に従事している。 ・指定管理者としての役割や施設の管理運営への理解のほか、面談等の条件はあるものの、基本的には継続雇用を原則としている。 	
(2) 市内雇用への配慮				
(3) 障害者雇用の確保				
(4) 施設職員の雇用の安定化への配慮				

【評価の内容】
A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 子ども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
ア 多様な子どもが安全・安心に利用できるとともに、こどもだけでなく様々な世代や親子で楽しんでも利用できるような施設運営に、より一層努められたい。	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ流行時には、館内において掲示物による注意喚起や感染症対策を実施した。アリーナでは、親子で遊べる「未就学コーナー」「卓球」「バドミントン・フリスビー」等の運用について、コロナ禍より続けていた制限を解除したほか、また、以前夕方の時間に設置していた「バスケットボール」のエリアを再開した。乳児が、保護者の抱っこから降りてハイハイ等ができるような「赤ちゃんコーナー」を新設した。
イ 新規利用者を増やせるような広報体制について、検討されたい。		<ul style="list-style-type: none"> ・各層を対象にした講座やイベントを企画・開催した。また、HPやSNSを頻繁に更新するとともに、市内の小中学校、公民館等に毎月チラシを配布して広報に努めた。幕張メッセや生涯学習センターでの出前講座に加え、新規の連携先として、中央図書館の「読書まつり」に新たに参加した。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	1. 調査方法 (1) 利用者アンケート等 (回収BOXにより常時受理) (2) 特別アンケート (児童福祉週間、子育てふれ愛フェスタ開催時) (3) 通常利用時アンケート (月1回(2日間) 5段階のモニタリングシートに評価をシールで投票)
	回答者数	2. 回答者数 (枚数) (1) 25枚 (その他、インスタグラム、口頭) (2) 330枚 (児童福祉週間: 227枚、子育てふれ愛フェスタ: 103枚) (3) 1,180枚 (休日: 864枚、平日: 316枚)
	質問項目	3. 質問項目 事業、スタッフ、施設等の満足度他
結果		<p>(1) 利用者アンケート等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学生なので、もう少し遊べるプレイルームの時間を増やしてほしい。 (5月 小5 女子) ●いつも利用しています。ここは、大きな部屋と楽しいアリーナなどがあってとても楽しい交流館だと思います。家から近くて、すぐ行けてとても便利です。色々な部屋で遊べたり、調べたり、作ったりできるので、つぶれないでほしいです。 (7月 9歳 男児) ●猛暑に気が緩みがちだけど、夏のイベントは感染対策をしっかりしてほしい。元気で丈夫な人ばかり利用するわけではない。私みたいに身体が弱くて「交流館」が一番楽しみの人もいる。コロナだけでなく、RSとかヘルパンギーナとか、感染症全部に対して、もっと敏感に気にしてほしい。弱い人へとか人への思いやりってキャッチフレーズじゃなくて、感染対策。人への為にマスクをつけるとかそういうことも入るんじゃない? (7月 記入者詳細不明) ※他、感染症対策に関する同様の意見が8件 ●先日13日の幼児なかよしクッキングでは、クッキング担当の先生に大変お世話になりました。特に講師の先生の料理説明の時など、じっと見ていることが苦手なので、見学している私の方に来るかと思いましたが、特に講師の先生の料理説明の時など、じっと見ていることが苦手なので、見学している私の方に来るかと思いましたが、お一人の先生が子どもに丁寧についてくださり、最後まで教室に参加することが出来ました。ケーキの飾り付けの時など、細かい作業を真剣にやっていました。お家ではケーキを家族で美味しく頂きました。必要な時に手助けしてくださり、時には温かく見守ってくださり、ありがとうございました。また来月のピザや、他に子どもが興味ありそうなクッキングの時に、抽選で当選しましたら、参加させてください。本当にありがとうございました。 (12月 調理講座に申し込まれ参加された保護者) ●いろいろなおもしろい物があって、おもしろかったです。 (2月 記入者詳細不明) <p>(2) 特別アンケート</p> <p>「児童福祉週間」 (5/3～5/11、アンケート回収枚数227枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プログラム毎の感想 ※☆1～3個で評価 「☆1個」: 10、「☆2個」: 27、「☆3個」: 248、「意見のみ」: 9 ※上記の「☆3個」の回答を利用者満足度が高かった回答とし、回答における「☆3個」の割合を算出。 利用者満足度が高い回答 (248) ÷ 全回答 (10+27+248) × 100 = 87.0% …イベント開催時満足度…① ※プログラム毎の感想をプログラムへの評価有の回答 (数: 285)、意見のみの回答 (数: 9) に分類し、評価有の回答のみを母数とした。 ●開催を知った経緯 (回答数: 216) ※複数回答あり 子ども交流館: 107、ホームページ: 55、ポスター・チラシ: 19、小学校: 13、図書館: 2、子育て支援館: 2、その他: 18 ●住所について (回答数: 204) 市内: 165、市外: 39 <p>「子育てふれ愛フェスタ」 (11/23、アンケート回収枚数103枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プログラム毎の感想 ※☆1～5個で評価 ☆1個: 4 ☆2個: 3 ☆3個: 6 ☆4個: 22 ☆5個: 104 意見のみ: 0 ※上記の「☆4個」及び「☆5個」の回答を利用者満足度が高かった回答とし、回答における「☆4個」及び「☆5個」の割合を算出。 利用者満足度が高い回答 (22+104) ÷ 全回答 (4+3+6+22+104) × 100 = 90.6% …イベント開催時満足度…② ●開催を知った経緯 (回答数: 98) 子ども交流館: 44、ポスター・チラシ: 18、ホームページ: 7、小学校: 7、子育て支援館: 6、保育園 (所): 4、市政だより: 2、幼稚園: 1、公民館: 1、その他: 8 ●住所について (回答数: 97) 市内: 83、市外: 14 ●交流館の利用について (回答数: 98) はじめてきた: 21、ときどききている: 52、いつもきている: 25 ●平常時の子ども交流館について ※ぜんぜん楽しくない～とても楽しいの5段階で評価 ぜんぜん楽しくない: 0、あまり楽しくない: 0、どちらでもない: 0、楽しい: 26、とても楽しい: 61 ※上記の「楽しい」及び「とても楽しい」の回答を利用者満足度が高かった回答とし、回答における「楽しい」及び「とても楽しい」の割合を算出。 利用者満足度が高い回答 (26+61) ÷ 全回答 (26+61) × 100 = 100% …通常利用時の満足度…③ ※この設問は「いつもの交流館の感想」を聞いており、この部分については、通常利用時の評価として扱うこととした。 <p>(3) 通常利用時アンケート</p> <p>※10月からの毎月2日間 (平日1日、休日1日)、利用者が利用満足度を5段階に分けたシートへ、シールを貼付けて評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども交流館感想 ※「ぜんぜん楽しくなかった」～「とても楽しかった。また是非来たい」の5段階で評価 ぜんぜん楽しくない: 5、あまり楽しくなかった: 9、どちらでもない: 23、楽しかったまた来たい: 185、とても楽しかった是非また来たい: 958 ※上記の「楽しかったまた来たい」及び「とても楽しかったまた是非来たい」の回答を利用者満足度が高かった回答とし、回答における「楽しかったまた来たい」及び「とても楽しかったまた是非来たい」の割合を算出。 利用者満足度が高い回答 (185+958) ÷ 全回答 (1,180) × 100 = 96.9% …通常利用時の満足度…④ <p>☆イベント開催時及び通常利用時の満足度結果で、満足度の高い回答における全回答の割合を利用者満足度とする。 (① (248) +② (126) +③ (87) +④ (1,143)) ÷ (① (285) +② (139) +③ (87) +④ (1,180)) × 100 = 94.9% …利用者満足度</p>

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
夏季における館内利用者及びスタッフの感染症対策に対するご意見	不特定多数の子どもが集まる当館では、コロナ感染拡大前から、換気やプレイルームの毎時の消毒など、感染拡大の予防に努めており、今後も変わらず必要最低限の対策は取っていくほか、当館の利用に際して、何か心配なことがあった場合、職員にお話しいただければできる範囲で対応していく旨回答した。
プレイルームの中がすごく暑かったことに対するご意見	当館では、館内がある程度の一定の温度になるように設定されているが、多少の温度調節は、プレイルームの中において可能であるため、その際は職員へ声をかけてほしい旨回答した。
アリーナで卓球を利用した際に貸出されたラケットが破損していたこと及びそれに伴う備品管理に対する苦情	破損のあったラケットについては、新品のラケットと交換した。 再発防止策として、卓球やバドミントンのラケットの状況をよく確認してから、貸出をするよう職員・スタッフと再確認し、破損している場合は、適宜、修理・交換を行う運用を徹底することとした。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の来館者数は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行された影響もあり、前年度比 144.5%で91,916人でした。これは、ほぼ新型コロナウイルス感染症の影響がなかった令和元年度と比較すると、66.5%となり、前年度よりも20.5ポイント上昇しました。 なお、利用者数（来館者に加え、来館してなくても公民館等での出張講座に参加した方も含む成果指標）は、93,995人で、前年度比 147.8%でした。 また、新規登録者数については、前年度(7,271人)比139.9%の10,174人となりました。令和元年度(11,788人)と比較して、86.3%でした。 出張講座は、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学校や公民館等には受け入れてもらえませんでした。令和5年度は4カ所で開催し、新規登録者11人を獲得することができました。
------	---	----	---

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は、93,995人とインフルエンザ等の感染症流行による、講座キャンセル等の影響により、指定管理者設定の数値目標を下回ったものの、市設定の数値目標を達成し、前年度(63,602人)の約1.5倍となった。 利用者満足度の把握を、イベント実施のない通常の利用日に毎月2日間（平日1日、休日1日）実施し、利用満足度を5段階に分けたシートへ退館時にシールを貼ってもらうことにより、利用者満足度の把握に努めた。 感染症対策に留意し、安全対策を徹底しつつも、状況に応じて講座やイベントの開催の有無、回数の増減や定員の増減等の工夫と改善の実施により、利用者にとって、「安全で、安心できる居場所」で「楽しめる場所」とすることで高い利用者満足度を得ることができた。 出張講座実施回数は、アフタースクール、エコメッセ、読書まつり、まなびフェスタの合計4回と、インフルエンザが流行した影響等により、指定管理者設定の数値目標及び市設定の数値目標を下回ったものの、千葉市科学館との連携で科学フェスタやプラネタリウムコンサート等の場で、アウトリーチとしての取組みを積極的に実施するなど、今後の利用者増にも貢献した。 本市のこども施策（こどものまちCBT、ワークショップ、児童福祉週間、こども・若者フォーラム等）への協力体制があり、事業実施に貢献している。
------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) こども未来局指定管理者選定評価委員会の意見

ア	市による評価のとおり、概ね良好な管理運営が行われていると認められる。
イ	昨年度の当委員会意見を踏まえた対応を適切に図っており、評価する。
ウ	指定管理者の財務状況について、現状において特段の問題はないと認められる。
エ	こどもの健康や安全に配慮した施設管理について、こどもにわかりやすい表示を心がけるとともに、こどもの声を反映した運営に、より一層努められたい。
オ	出張講座の開催促進のため、学校現場への周知について検討されたい。